

自由のともび

VOL.
101
2026 September

- 企画展「蒐集家のまなざし—近森重治蒐集『近森コレクション』展—」
しゅうしゅうか
- タローマン高知大万博
- 夏休み子ども歴史教室レポート
- めざせ博学連携!活動レポート



@2025 TAROMAN FP

リレーエッセイ

タローマン高知大万博をふりかえって

高知パビリオンの共催団体である当館指定管理者シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社の統括責任者・平尾俊和氏に聞きました。

(聞き手 館長 筒井秀二)

どのような経緯で共催となったのですか？

主催者から、自由民権記念館には、芸術家・岡本太郎の原画「自由な私」が所蔵されており、「ご縁が深い場所として高知パビリオンの会場にしたい」とのお話がありました。指定管理者として、その趣旨に賛同し事業化することになりました。

タローマンのことはご存知でしたか？

実は知りませんでしたが、岡本太郎と「太陽の塔」はよく知っていましたので、「どんな企画だろう」と一気に興味を湧きました。

1970年の大阪万博には行かれたましたか？

当時小学二年で、香川県にいたのですが、父親に連れて行ってもらいました。

当時の万博の印象をお聞かせください。

やはり「太陽の塔」と「月の石」が印象に残っています。近未来を感じたというか、日本の未来は明るいと、子供心に感じた記憶があります。

今回の高知パビリオンの感想は？

自由民権記念館の「自由」と岡本太郎の「自由な私」「太陽の塔」が自然につながったように感じ、とてもうれしく思いました。

お客さんはどんな様子でしたか？

タローマンTシャツを着たファンなど、客層も幅広く多くの来館がありました。首都圏からお越しの方もいました。高知パビリオン限定グッズもあって売れ行きも好調でした。初めて来館される方もいて、当館を知っていただく良い機会になったと感じています。

今後の事業については？

現在の日本で私たちが享受している「自由」は、自由民権運動の先人たちの歩みの上に築かれています。その歴史を伝える当館をより多くの方に知っていただくよう、今後も多くの皆さんに興味を持っていただける企画に取り組んでいきたいと考えています。

企画展

蒐集家の 「近森重治蒐集」 「近森コレクション」展

期間 2026(令和8)年10月3日(土)～2027(令和9)年2月21日(日)
前期:10月3日(土)～12月13日(日) 後期:12月15日(火)～2027(令和9)年2月21日(日)
会場 2階 特別展示室



第41回 国民文化祭
第26回 全国書道展・文芸祭

よさこい高知
文化祭2026

令和8年10月25日～12月6日

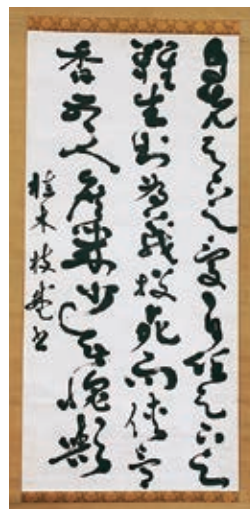
高知市出身の蒐集家・近森重治氏が、独自の審美眼で蒐集した「近森コレクション」。

本展では、その中から選りすぐりの資料を一挙展示するほか、近森氏が遺したメモや研究ノート、古書画鑑賞会出品にまつわる記録などから、同氏の蒐集家としての「まなざし」に迫ります。

●「近森文庫」と「近森コレクション」

近森氏の蒐集資料といえは、高知市立市民図書館所蔵の「近森文庫」を思い浮かべる方が多いかもしれません。これは、高知市が1974(昭和49)年に近森氏から購入した、約一万七〇〇点にも及ぶ大資料群です。既にひろく調査研究で活用されており、民権関係の資料は当館の常設展示室でもご覧いただけます(複製展示含む)。

一方、本展で紹介する「近森コレクション」は、近森氏が晩年を過



植木枝盛書軸



山脇信徳画『御置瀬の朝風』

●蒐集の動機

近森氏の資料蒐集は戦前から始まっていますが、戦災により、それまで蒐集した資料の多くを失いました。戦後、戦地から帰国した氏は、ふたたび全国各地の古書店を通じて蒐集を始めます。

さて、近森氏がこれだけの一大コレクションを蒐集した動機は何

だったのでしょうか。「近森コレクション」には古書店からの書簡や販売目録、領収書、蒐集に関するメモ、研究ノート等、近森氏自身の資料も多く含まれています。中でも市民図書館職員に対する講話原稿には、蒐集への思いがたっぷりと綴られています。これによると、近森氏は「明治初期の諸種の研究のたけ東京へ迄出張しなければ目的が達しない様では困るからこの地方に残存して居るものだけでも集録して役立たせてみよう」という思いから蒐集を始めたといいま

●近森氏とっておきの資料がずらり

かつて市民図書館が主催していた「書画・古文書・稀覯本鑑賞会」をご存じでしょうか。県内の蒐集家たちが月に一度自慢の蒐集品を持ち寄り、専門家とともに鑑賞するといふものです。資料に対する理解を深めること、そして貴重な資料の散逸を防ぐことを目的に開催されました。

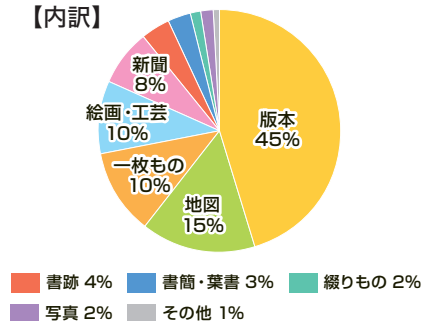
近森氏は、この「鑑賞会」に第1回から参加。自身のコレクションから、板垣退助の書簡、植木枝盛の書軸、葛飾北斎の「富嶽三十六景」シリーズ、喜多川歌麿と葛屋重三郎による狂歌絵本『潮干のつと』などそうそうたる資料を、のべ314点出品しています。本展では、これら近森氏とっておきの資料もたっぷりご紹介します。氏による出品当時の解説文とともにお楽しみください。

近森コレクション概要

(合計 約2,150点)

・近森氏が蒐集した資料
約1,300点

【内訳】



そのほか近森氏自身及び近森氏の蒐集に関する周辺資料が約850点あります。

※現時点の集計による



葛飾北斎『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』



近森氏直筆
第一回鑑賞会出品目録



土佐村送り切手

明治5年から約2年だけ運用された高知県の郵便制度で実際に使われた切手。



喜多川歌麿(版元蔦屋重三郎)『潮干のつと』

【関連行事】

記念講演会

高知近代史研究会第128回研究会

歴史を伝えるコレクション

「近森重治氏・その人と志」

筒井秀一(当館館長)

「民具を集めた土佐の先人たち」

梅野光興氏(高知県立歴史民俗資料館学芸員)

「高知でとりだめられた

自然史科学の記録を、未来へつなぐ」

谷地森秀二氏(高知に自然史博物館をつくる会代表)

日時: 令和8年12月12日(土) 13時30分~16時

会場: 当館1階民権ホール

申込
不要

参加
無料

ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説を行います。

日時: ①10月11日(日)、②12月12日(土)、
③2月20日(土)

①午後2時から ②③午後4時から 30分程度

※常設展・企画展共通観覧券をお買い求めの上、
2階展示室にお越しください。

申込
不要

きかせて!みんなのコレクション

みなさんが収集しているコレクションについて、その魅力を教えてください! 回答は、展示室入口そばのアンケートブースで。いただいた回答は、館内及びHP、広報紙等で紹介させていただきます。

展示資料リスト(一部)

前期(10月3日~12月13日)と後期(12月15日~2月21日)で資料のほぼ全点を入れ替えます。また浮世絵等の一部資料(★)は期間限定展示となります。

前期

種別	資料名	作者
地図	土佐国絵図 全	
地図	吸江図志(復刻版)	河田小龍
書軸	植木枝盛書軸	植木枝盛
絵画	鏡川鮎釣	山脇信徳
書簡	板垣退助・後藤象二郎書簡	板垣退助・後藤象二郎
和本	吉原青楼年中行事	十返舎一九作/喜多川歌麿画
和本	土佐職人歌合	
和本	潮干のつと	喜多川歌麿
浮世絵★	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏 ※展示期間 10月3日~11月8日	葛飾北斎
浮世絵★	九段坂五月夜 ※展示期間 11月10日~12月13日	小林清親
卷子本	笑泣録	武市瑞山
切手	土佐村送り切手	

後期

種別	資料名	作者
地図	高知城下絵図	
書軸	山内容堂書軸	山内容堂
絵画	御豊瀬の朝凧	山脇信徳
書簡	板垣退助書簡 片岡健吉宛	板垣退助
書簡	正二位(山内容堂)書簡 高知藩知事(山内豊範)宛	山内容堂
和本	伊勢物語	
和本	和歌夷	
和本	江戸生艶気樺焼	山東京伝作/北尾政演画
和本	絵本浄瑠璃絶句	葛飾北斎
浮世絵★	東都名所 芝増上寺雪中之図 ※展示期間 12月15日~1月17日	歌川広重
浮世絵★	富嶽三十六景 山下白雨 ※展示期間 1月18日~2月21日	葛飾北斎
版画★	裸女十種 踊り ※展示期間 12月15日~1月17日	石川寅治

タローマン高知大万博

芸術家・岡本太郎さんの作品「太陽の塔」をモチーフにした、特撮ヒーロー「タローマン」が高知にやってきました！

2026（令和8）年7月10日～8月16日、高知県内3会場を周遊する「タローマン高知大万博」（主催：高知アニメクリエイター聖地プロジェクト実行委員会）を開催。須崎、南国、高知の3つのパビリオンでは、映画上映、AR体験、岡本太郎さんと高知とのつながりを紹介する企画展などを展開しました。

開幕宣言

7月10日、「タローマン高知大万博」の開幕を記念して、オープニングセレモニーが行われました。会場には、映画『大長編タローマン万博大爆発』の藤井亮監督、特別ゲストの映画監督・樋口真嗣氏、そして本展の座長を務める株式会社海洋堂高知代表取締役社長の宮脇修一氏、高知信用金庫山崎久留美理事長ら関係者が登壇。

テープカットに続くトークイベントでは、藤井監督、樋口監督、宮脇氏によるここでしか聞けない貴重な話や、タローマンへの熱い思いが語られ、会場は大いに盛り上がりました。イベント終了後、登壇者はタローマンのラッピングを施した路面電車に乗車し、集まった多くのファンに見送られながら会場を後にしました。



にぎわうトークショー



展示室を見学する宮脇氏、樋口監督、藤井監督（左から）



テープカット

高知パビリオン

「岡本太郎と自由な私展」

高知パビリオンの会場となった当館では、「岡本太郎と自由な私展」と題して、岡本太郎さんが手掛けた高知市制100周年記念事業シンボルキャラクター「自由な私」の原画や市制100周年記念グッズなどを展示。また、「自由な私」の原画から生まれた奇獣も登場。岡本太郎ファンをはじめ、多くのタローマンファンの方々にご来場いただきました。



岡本太郎による原画「自由な私」



展示室入口



奇獣「自由な私」



高知限定記念品

3会場周遊企画

各会場では、ユニークなAR体験コーナーも設置。各パビリオンの二次元コードを読み込むとスマートフォンの中にそれぞれ違ったデザインのタローマンが出現。当館の二次元コードからは「路面電車を持つタローマン」をダウンロードすることができました。思い思いの場所でオリジナルARフォト撮影を楽しむ来館者の姿が多く見られました。また、3会場を巡るスタンプラリーを同時実施し、スタンプを集めた方に高知限定の記念品を配布しました。

タローマン現る！

7月25日の「タローマンデー」にはタローマンが現れ、独特なタロームーブを披露。予期せぬ出現に、来館者は驚きと感動の合言葉「なんだこれは！」を体感したのです。





高知商業高等学校ジビエ部パネル展

「板垣退助のふるさとから 広がるジビエ」

高知商業高等学校初代校長を務めた横山又吉が民権家であったことから、当館から同校へお声掛けし、2025年2月に「第1回食と自然環境講座」において、ジビエ部によるトークセッションやワークショップ「シカの角キーホルダーを作ろう」を開催。以降、板垣退助の好物から着想を得て開発したお弁当の販売をはじめ、様々なイベントを連携して実施してきました。

今回、2026年7月18日(土)～8月23日(日)まで、その足跡とジビエ部の活動を紹介するパネル展を開催しました。



ジビエ部への
メッセージ
コーナーより

これからの地球のため、
継続して取り組みを頑張ってください。
応援しています！

ぶんしょうよんだよ！
クイズがたのしかったです。
いろいろなことがわかって
よかったです。

素晴らしい取組だと思った。
若い方が考えてくれることが
明るい未来につながります。



みんけんdeナイト～ぬいぐるみお泊り会～

子どもたちに当館を知ってもらうことを目的に、新たな取組として「みんけんdeナイト～ぬいぐるみお泊り会～」を開催しました。

このお泊り会は、子どもたちお気に入りのぬいぐるみを当館でお預かりし、そのぬいぐるみが夜の館内に宿泊して展示を見たり、館内を探索したりする企画です。今回は、潮江地区の認定こども園「潮モンテッソーリ学園」に御協力いただき、お泊り会の様子を撮影した動画を、園児や保護者の皆様と一緒に鑑賞しました。

当館を身近に感じていただけた一日となりました。

6月12日(金)～13日(土)

園児からぬいぐるみをお預かり

ぬいぐるみとひとときのお別れです。「楽しんでね！」と送り出す園児もいれば、お別れをさみしがる園児も...

撮影開始

ぬいぐるみたちは、夜の館内で学芸員による解説を受けながら、観覧をしたり塗り絵を楽しみ、植木枝盛の書斎で眠りにつきました。

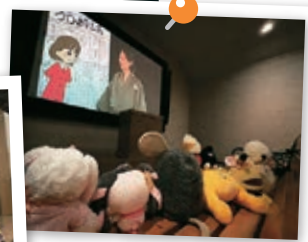
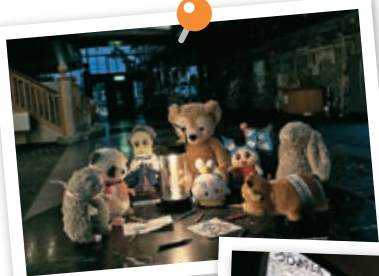
6月14日(日)

お迎えの日

子どもたちは「何をして遊んだの?」「晩御飯は何を食べたの?」とぬいぐるみのもとへダッシュ!!その後みんなで常設展示室を回りました。

動画鑑賞

お泊り会の様子を、みんなで鑑賞しました。



令和
8年度

夏休み 子ども歴史教室

レポート



▲ 開会式

社会科部会の先生の司会でスタート。館長の挨拶を聞いた後は、映像「自由民権って何？」を鑑賞して準備万端、クイズラリーに出発です。



7月30日(木)、今年で29回目となる恒例の「夏休み子ども歴史教室」を高知市教育研究会社会科部会との共催により、自由民権記念館で開催しました。この催しは、自由民権運動や郷土の歴史を、クイズなどで楽しく学びながら知識を深めてもらおうと始めたものです。当日は、高知市内の小学3年生から6年生の19名が参加しました。運営に御協力いただきました高知市教育研究会社会科部会の先生方、「高知県民謡協会」及び劇団「久保の会」の皆さん、ありがとうございました。

クイズラリー

当館を舞台にしたワークシート「自由民権新聞(夏休み号)」を手に、クイズや体験のミッションに挑戦。3つの班に分かれて館内を巡り、5人の民権家のスタンプを集めていきました。

第1チェックポイント



民権クイズに挑戦(第1展示室)

第1展示室をまわりながら、展示にまつわるクイズに挑戦。子どもたちは展示ケースを熱心にのぞき込み、当時流行した泥めんこや、板垣退助の襲撃に使用された短刀など展示資料の中から、クイズの答えを一生懸命探していました。

第2チェックポイント



民権クイズに挑戦(第2展示室)

第2展示室では、「植木枝盛の書斎」や「自由大懇親会に向かう群像」に関する問題が出題されました。展示室の隅々までみながら、クイズに挑戦する姿が見られました。

第3チェックポイント



寸劇の観賞(民権座)

劇団「久保の会」の皆さんによる、明治時代の演説会を再現したお芝居は迫力満点!子どもたちは、まるで自分も当時の演説会に参加しているかのような熱気を感じながら、劇を楽しみました。

第4チェックポイント



民権すごろく遊びを体験(研修室)

明治時代に作られた「民権すごろく」を体験。普段見慣れないくずし字に戸惑いながらも、サイコロを振って一喜一憂!振り出しの「男女同権」からスタートし、上りの「国会開設」を目指しました。

第5チェックポイント



民権歌謡の合唱(民権ホール)

「高知県民謡協会」の皆さんの美しい三味線の伴奏に合わせて歌詞の意味も考えながら「よしや節」を歌いました。

2026年6月29日

出前授業——土佐塾中学校へ

「道徳」の授業で自由民権運動と中江兆民に関するお話を、という御依頼を受け、中学2年生約180人の生徒さんのもとへ伺いました。授業の前半は、自由民権運動の概要と目的、中江兆民の活動について、後半は、兆民作『三酔人経綸問答』の内容を御紹介。やや難しい内容となっていましたかもしれないですが、一国の政治に対して異なる考え方を持つ者同士が深い「対話」を通じて結論を出す、そのプロセスの重要性を感じ取っていただけたのではないのでしょうか。また、担当者が個人的にウラのテーマを「温故知新」としていた今回。歴史上の人物の足跡や歴史資料から、現代の私たちが生きるヒントを得られることもあるんだな…ということを感じていただけたなら幸いです。

2026年7月31日

出前講座—— 一宮小学校児童クラブへ

自由民権記念館では、自由民権運動をテーマにした講座はもちろ

のこと、明治期に作られたすごろくや、錦絵や地図をもとに作成したパズルなどを使って、楽しく日本・高知の近代に親しんでもらうプログラムを用意しています。

児童クラブには、小学校1年生から6年生まで、異なる学年の子どもたちが在籍しており、学習段階もさまざまです。座学の講座はむずかしい面があります。しかし、遊びながらの学習は学年問わず大人気！今回も大盛り上がりとなりました。遊び終わった後、パズルに描かれた絵や、すごろくの内容について子どもたちとお話する時間が、担当者にとても楽しみな活動です。



2026年8月8日

教員対象研修「板垣退助く学校での紹介を意識して」に参加

高知城歴史博物館では、幕末の板垣退助をテーマにした企画展「猪突猛進！幕末の板垣退助」を開催しています（9月6日）。その関連行事として、高知県教育センター主催の

教員対象の講座を共催することになりました。当日は14人の方にお越しいただき、板垣退助と自由民権運動の資料や副読本、当館の活用事例などを御紹介しました。先生方にとって今回の研修が博物館施設を気軽に活用いただけるきっかけになれば幸いです。貴重な機会をくださった高知県教育センター、高知城歴史博物館のみなさま、御参加いただいた先生方に、あらためて御礼申し上げます。

2026年7月28日～8月2日

博物館実習を行いました！

今年は、7月28日から6名の実習生を受け入れました。資料調査や展示の企画だけでなく、夏休み子ども歴史教室や出前講座にも同行したことで、博物館の多様な役割について学んでいただけたことと思います。大変暑い中での実習となりましたが、5日間おつかれさまでした。



予 告 「教員のための博物館の日」



「教員のための博物館の日」は、学校現場で自由民権記念館を気軽に活用していただくことを目的に令和6年度から開催しているイベントです。

11月28日(土)の午前は、常設展・企画展の展示解説、過去の当館活用事例、授業で使える資料画像など学習プログラムの紹介を、当館館長と学芸員が行います。

いずれも参加無料ですので、この機会にぜひ当館へお越しください。

対 象：教員、教育関係者、教員を目指している学生
参加費：無料

①11月28日(土) 10時～11時30分

- ・展示観覧(解説つき)…10時～10時50分
- ・学習プログラムの紹介…11時～11時30分

②11月28日(土)～11月29日(日)

1階受付で「教員のための博物館の日に参加する」とお申し出いただいた方は無料で展示室を観覧いただけます。



行事予定

(秋・冬)

予定は変更になる場合があります。詳しくは自由民権記念館までお問い合わせください。

◆は当館内自由民権記念館友の会事務局にお問い合わせください。

10月3日(土)～2月21日(日)

■企画展

しゅうしゅうか

「蒐集家のまなざし

—近森重治蒐集『近森コレクション』展—

会場：2階特別展示室

前期：10月3日(土)～12月13日(日)

後期：12月15日(火)～2月21日(日)

※常設展・企画展共通観覧券が必要

※担当学芸員によるギャラリートーク

①10月11日(日)

②12月12日(土)

③2月20日(土)

①午後2時～②③午後4時～ 30分程度

10月17日(土) 13:30～16:00

◆第26回「県詞の日」記念講演会

「物部川堤防事件」に見る 草の根の民権家たち

講師：公文豪氏(自由民権運動研究者)

会場：1階民権ホール

10月31日(土) 9:30～12:30

◆「歩いて民権史跡を訪ねる」 要申込

案内人：濱田実有(当館学芸員)

参加費：300円(雨天中止)

12月12日(土) 13:30～16:00

■企画展

「蒐集家のまなざし—近森重治蒐集

『近森コレクション』展—」記念講演会

高知近代史研究会第128回研究会

歴史を伝えるコレクション

「近森重治氏・その人と志」

講師：筒井秀一(当館館長)

「民具を集めた土佐の先人たち」

講師：梅野光興氏

(高知県立歴史民俗資料館学芸員)

「高知でとりだめられた

自然史科学の記録を、未来へつなぐ」

講師：谷地森秀二氏

(高知に自然史博物館をつくる会代表)

会場：1階民権ホール

12月13日(日) 10:00～12:00

◆「兆民忌」

集合場所：高知市筆山登り口(雨天中止)

筆山にある中江家墓所の清掃と墓参り

12月20日(日) 13:30～15:30

◆第29回 民権風まつり 要申込

「土佐風を作ろう」

会場：1階自由ギャラリー 参加費：500円

1月4日(月) 14:00～

◆第29回 民権風まつり

「土佐風を揚げよう」

会場：鏡川北岸トリム公園(雨天中止)

1月16日(土)～2月21日(日)

■第27回社会科自由研究作品展

会場：1階自由ギャラリー

市内小中学生の社会科に関する研究作品を展示

1月23日(土) 10:00～12:00

◆「無天忌」

集合場所：高知市小高坂市民会館(雨天中止)

山ノ端町にある植木枝盛の墓所の清掃と墓参り

2月20日(土) 14:00～16:00

■高知近代史研究会第129回研究会

「高知県東部における

『泊まれる文化拠点』づくりによる
建物再生」

講師：井上有加氏

(㈱junos代表取締役/㈱井上建築取締役)

会場：1階民権ホール

イベント予定

11月14日(土)

龍馬の生まれたまち記念館とのコラボ企画

「龍馬と維新と民権と」

11:00～11:30

高知商業高等学校ジビエ部・社会マネジメント科による商品PR

会場：1階民権ホール

11:00～15:30

高知商業高等学校ジビエ部・社会マネジメント科による商品の販売

ジビエ部：坂本龍馬の好物である軍鶏肉からヒントを得て開発した

「しゃも肉のそぼろ丼」

社会マネジメント科：櫓や文旦を活用して開発した

「フレグランスミント」

会場：1階アトリウム

14:00～15:30

講演会「桂浜の坂本龍馬彰彰碑にみる子孫のきずな

—安芸喜代香、坂本弥太郎を中心に—

講師：今井章博氏(現代龍馬学会理事)

会場：1階民権ホール

11月上旬～12月25日(金) (予定)

みんなdeクリスマス

11月上旬

クリスマスツリーの飾り付け・ダンスの披露

協力：筆山保育園

12月下旬

クリスマスソングの合唱

協力：土佐女子中学高等学校コーラス部

1月20日(水)～24日(日)

みんなdeお正月～装いの文化～

1月20日(水)～24日(日) 9:30～16:30

花や家紋をモチーフにした変わり帯を

約20体展示。

会場：1階研修室

1月24日(日) 14:00～15:30

展示説明

講師：津野典子氏(装道礼法きもの学院高知県認可連盟代表)

会場：1階研修室

2月13日(土) 10:00～15:00

みんなdeマルシェ

出店予定：hoi・甘音・担々回・mogi-curry・ゆうき堂・銀座に志かわ・かしこ・高知商業高等学校・ていだめ工房他

会場：1階アトリウム

2月13日(土) 14:00～15:30

第3回食と自然環境講座

第1部 講師：油利崇氏(南国市生涯学習課文化財係)

土器と遺跡からみる食と自然環境/日本人の食に関する道具とお米の調理方法の変化

第2部 講師：濱田佳奈氏(南国市生涯学習課文化財係)

戦国時代の食と自然環境/食器の変遷と茶道文化

※出土品の展示あり

会場：1階民権ホール

ワークショップ

午前の部 10:00～12:00

午後の部 14:00～16:00

参加費：500円 定員：各回15名

会場：1階研修室

※午前・午後とも参加者対象の

展示クイズラリーあり

要電話
予約

10/24(土)

フラワーマグネットを作ろう!

11/28(土)

ダンボール工作をしよう!

12/19(土)

クリスマスグッズを作ろう!

1/23(土)

和の文化を学ぼう!

2/20(土)

タオル着物びなを作ろう!

3/13(土)

フラワーボックスを作ろう!

時代の郷



自由民権記念館

自由のともしび

Jiyu no Tomoshibi

自由民権記念館だより Vol.101

発行 2026(令和8)年9月1日 発行人 筒井秀一

発行所 〒781-8010 高知市棧橋通4丁目14-3 TEL.088-831-3336 FAX.088-831-3306

自由のともしび(Vol.60から)が当館公式サイト(<https://www.i-minken.jp/>)で御覧いただけます。